

令和5年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	壮志会
事 業 名	先進地視察 ・「国保被保険者の「健康寿命の延伸」「医療費の適正化」等の「データヘルス計画」事業について
事 業 区 分	①研究研修 ②調 査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

上田市においては「上田市人生100年時代をより良く生きる健康づくり条例」を令和4年に施行した。この条例は、健康づくりに関し、基本理念を定め、市民、市、議会、関係団体及び地域コミュニティの役割や責務を明らかにするとともに、その推進のための基本的事項を定めることにより、全ての市民が生涯にわたり健康で心豊かに暮らせる「健幸都市うえだ」を実現することを目的としている。南相馬市では、「市民が生涯を通じて健康であること～健康づくりがウマいまちへ～」を健康づくりのビジョンとし、「健康寿命の延伸」「BMI アンダー25 推進事業」「検診受診の受診率向上（国保特定健康診査事業）」を目標として掲げている。視察内容は、国保被保険者の「健康寿命の延伸」「医療費の適正化」等の「データヘルス計画」事業の先進地として南相馬市の取り組みを参考にするため視察を行う。

2 実施概要

実施日時	視察先	福島県 南相馬市
令和6年1月25日(木) 午前10時30分～正午	担当部局	健康福祉部健康づくり課 相良 毅 課長 健康づくり課課長補佐兼健康支援係 渡邊幸以 係長 健康推進係 花井愛理菜 係長 議会事務局 遠藤雄二 次長
報 告 内 容	<p>1 市の概要</p> <p>南相馬市は、福島県の太平洋側にあり、福島県浜通り北部に位置する市である。東は太平洋に面し、西は阿武隈高地に接する。気候は、暖流の影響により、夏は冷涼で冬は温暖な気候である。降雪量は東北地方としては少なめであるが、南岸低気圧が通過した際には、大雪が降ることもある。</p> <p>南相馬市は2006年（平成18年）1月1日、原町市と相馬郡小高町および鹿島町が合併して発足した。旧市町の区域ごとに地域自治区となっており、「原町区」「小高区」「鹿島区」に移行して住所に名称を残している。</p> <p>東京からの距離は292kmで、福島県いわき市と宮城県仙台市のほぼ中間に位置している。</p> <p>2 市の特徴</p> <p>南相馬市は、人口約5万9千人を有し、世帯数は約2万4千世帯、面積は約400km²であり、人口密度は約148人/km²である。</p> <p>南相馬市は、2011年の東日本大震災では、津波および福島第一原子力発電所事故による影響を受け、現在も復興に取り組んでいる。震災からの復興の一環として、福島イノベーション・コースト構想により市内にロボットテストフィールドが2020年3月に設置されるなど、国内でも有数のロボット開発・検証環境が整っている。</p>	

製造品出荷額では、電気機械器具や電子部品、ゴム製品の比重が高い。

南相馬市には、北泉海岸と、島崎海岸があり、いずれもサーフスポットとして有名である。原町区の北泉海岸は、原町火力発電所の南側に位置し、海岸を埋め立てて造った砂浜海岸である。発電所の防波堤の反射波と直接波が合成されて大きな波が発生することから人気がある。サーフィンの大会もアマチュア全国大会、東日本のプロ大会、世界プロサーフィン連盟が公認する「ワールド・クオリファイ・シリーズ」が開催された。

まちの魅力としては、相馬野馬追といった神事が有名で、馬という字が入っている通り、町にとっても神事にとっても馬はとても大事で身近な存在であり、馬が日常の一つとして欠かせない文化となっている。相馬野馬追の直前などは、馬事練習も個人個人で行われているため、朝方などに馬と騎手が一般道を歩く姿は、珍しくない。市内には、相馬野馬追の為にだけに飼育されている馬が、200頭弱、それ以外にも多くの馬が飼育されており、一地域における飼育数では、世界有数の頭数となる。相馬農業高校には、馬術部が存在し、日本代表候補などをこれまでも何度も輩出している名門馬術部である。市内には、名引退馬の飼育を行う家庭も多くあり、競馬ファンの間でも広く知られている。



3 視察事項について

・国保被保険者の「健康寿命の延伸」「医療費の適正化」等の「データヘルス計画」事業

(1) 経過

南相馬市では、平成30年度から令和4年度までを計画期間とする「南相馬市保健計画2018」を策定し、市民一人一人が日頃からの生活習慣に留意し、健康で安心して暮らすことが出来るよう、「生活習慣病予防対策」や「疾病予防・がん対策」、「歯科保健」、「放射線による健康不安軽減」、「食育」、「心の健康」、「母子保健」、「医療環境」の8分野を基に、計画を展開した。

令和4年度に「南相馬市保健計画2018」の計画期間が終了したことに伴い、令和5年に令和5年度から令和8年度までの4年間を新たな計画期間とし「南相馬市保健計画2023」を策定した。

(2) 具体的な取り組み

（重点課題1 健康意識の向上）健康意識啓発活動事業として、サンサンチャレンジ（体重を朝・夜記録し、3ヵ月で3kg減量を目指す）を実施する。また、歯科健康知識の普及・啓発事業として、歯科健康教育・歯科保健指導を行い、かかりつけ歯科医を持ち、定期歯科検診（プロフェッショナルケア）の受診の推進を行う。（重点課題2 健康行動の拡大）健康的な生活を送るための生活習慣の推進として、卒煙推進事業、ライフステージに応じた食育の推進を行う。（重点課題3 疾病の予防）国保特定健康

* 視察先の写真等がある場合は添付のこと

診査の受診率を上げるため、検診対象者への個人通知や広報、HP などを通じ受診奨励の充実を図る。また、虫歯・歯周病予防のため体制づくりとしてフッ化物でぶくぶく虫歯予防事業を実施。また、感染症予防対策の推進を行う。(重点課題 4 安心の醸成) 自殺予防対策の推進、放射線に関する正しい知識の普及、地域医療体制の整備を行う。(重点課題 5 基盤の整備) DX 推進。(重点課題 母子保健) 安心・安全な妊娠と出産の支援、子どもの健やかな育ちの支援、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の整備を行う。

4. まとめ

上田市では、「人生 100 年時代をより良く生きる健康づくり条例」を制定した。南相馬市では、総合計画の基本目標「100 年のまちづくり～家族や友人とともに暮らすまち～」を推進し、「市民が生涯を通して健康であること～健康づくりがウマイまちへ～」を健康ビジョンとして掲げている。令和 5 年「南相馬市保健計画 2023」を策定し、今後 8 年間で市民が震災と原発事故からの復興・再生を実感できることを目指し、まちづくりの基本姿勢として、「つなぐ」「よりそう」「いどむ」を実践している。「つなぐ」は、健康という財産を次の世代につなぎ、お達者度福島県内 1 位を目指す健康寿命の延伸。「よりそう」は、市民が対面する心身の健康への不安によりそう。「いどむ」は、病気にならない為の予防を実践できるよう市民の健康意識の向上にいどむ。

また、市民が自らの健康状態を知り、市全体で健康づくりに取り組む機運を醸成するため、市民が広く参加できる要介護度をもとにした健康寿命(令和 3 年値)が公表され健康づくり事業である「サンサンチャレンジ」を実施して順調に成果を上げている。長野県が男女ともに全国一位になった。上田市でも「お達者度」長野県 1 位になるよう市民全体が簡単にできる健康意識啓発活動推進の南相馬市での取り組みを参考に提案していきたい。

感想(まとめ)・市政に活かせること

